

訃 報

—謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

新谷 邦夫 殿(応用理学部門)
平成 24 年 2 月 13 日逝去 77 歳

山本 芳幸 殿(建設部門)
平成 24 年 4 月 15 日逝去 54 歳

高橋 誠 殿(建設部門)
平成 24 年 2 月 21 日逝去 62 歳

神代 方雅 殿(建設部門)
平成 24 年 5 月 11 日逝去 96 歳

佐藤 正治 殿(農業部門)
平成 24 年 2 月 25 日逝去 75 歳

■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

本年度、北海道ではゴールデンウィーク前後に各地で土砂災害が発生しました。その結果、国道や道道では相次いで通行止めが発生し、観光業、運送業をはじめ、周辺住民の生活には非常に大きな影響を及ぼしたことと思います。会員の皆様の中にも何かしらの影響を受けた方がいらっしゃるかもしれません。今回の土砂災害では、場所によっては完全に土砂で道が塞がれた地域や道路が寸断された地域があったにも関わらず、通行車両が巻き込まれるような二次災害が発生しなかったことが唯一不幸中の幸いと感じております。これも道路管理を担当している方達が被災後直ちに適切なソフト対策を講じたことにつきると思います。ソフト対策の重要性を再認識いたしました。

さて、私が本広報委員会の委員になったのは昨年(2012年)の4月です。実は恥ずかしながら、広報委員になるまで、コンサルタンツ北海道を読んだことがありませんでした。しかし、広報委員になり原稿に目を通すようになり、これだけ内容の濃い会報誌を年3回発行出来るのはすごい事だと他人事のように感心しております。特に本号は最近の中では最大頁数となり、読み応え十分だと思います。

本会報は会員のみなさまの投稿で成り立っている物です。今後とも会員のみなさまのご協力よろしくお願い致します。

なお、私はこの第127号ではじめて編集担当を任されたわけですが、表紙写真の選定は編集担当の特権だそうです。私自身、幼少期を漁村で過ごしたこともあり、懐かしい風景であるガラス浮き玉の入った浜の風景写真(積丹ブルー)を採用させていただきました。

第127号編集担当 荒木雅紀